

平成 26 年度（第 80 回）
関西オープンゴルフ選手権 最終予選競技

期 日 平成 26 年 5 月 19 日 予備日 5 月 20 日
場 所 六甲カントリー倶楽部

一般社団法人 関西ゴルフ連盟

ローカルルール

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。ただし、次のものを含む。
 - (a) スルーザグリーン芝草を短く刈った区域のヤーデージマーキングポイント。球のライ、意図するスイング区域への障害からの救済を受けることができる（スタンスへの障害は除く）。
 - (b) ホール横断用の通路（クロスウェイ）の白線で囲った区域
3. ウォーターハザードは黄杭または黄線、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
4. 排水溝は動かさない障害物とする。
5. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
6. 動かさない障害物と白線でつながれている区域は、その動かさない障害物の一部とみなす。
7. 樹木保護のための巻物施設はコースと不可分の部分とする。
8. 第 11 番ホールにおいて、球が高圧送電線に当たった場合は、そのストロークを取り消し、罰なしに再プレーしなければならない（ゴルフ規則 20-5）。その球をすぐには取り戻せない場合は、別の球に取り替えることができる。このローカルルールの違反の罰は 2 打。
9. 防球ネットからの救済を受ける場合は、その障害物の上を越えたり、中や下を通すことなく、ニヤレストポイントを決定しなければならない。このローカルルールの違反の罰は 2 打。
10. 場内整理用の縄張（ローピング）施設は動かせる障害物とする。
11. スコアボードや観客席、テレビ塔など、競技開催に伴って臨時に設けられた人工の物件で、固定されていたり容易には動かさないものは「臨時の動かさない障害物」とし、これらについては『臨時の動かさない障害物についてのローカルルール・ゴルフ規則付 I (B)7a』を適用する。
(ゴルフ規則 166 頁参照)
12. 『臨時の動力線とケーブルについてのローカルルール・ゴルフ規則付 I (B)7b』を適用する。
(ゴルフ規則 170 頁参照)
13. コースの外周にある電柵（動物などの侵入を防ぐための杭と電線）およびフェンスは動かさない障害物とする

競 技 の 条 件

1. ゴルフ規則
日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。
2. 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
3. 使用球の規格
 - (a) 『公認球リストの条件・ゴルフ規則付 I (c)1b』を適用する。（ゴルフ規則 175 頁参照）
 - (b) ラウンド中に使用する球について、『ワンボール条件・ゴルフ規則付 I (c)1c』を適用する。
(ゴルフ規則 176 頁参照)
4. 使用クラブの規格
 - (a) 『適合ドライバーヘッドリストの条件・ゴルフ規則付 I (c)1a』を適用する。
(ゴルフ規則174ページ参照)
 - (b) 『2010年1月1日施行の溝とパンチマークの規格に適合するクラブの使用を求める競技の条件』（裁定4-1/1）を適用する。（付属規則Ⅱ-5c注2 ゴルフ規則199ページ参照、2014-2015ゴルフ規則裁定集76ページ 4-1/1 参照）

5. 競技終了時点

本予選競技は、競技委員会の作成した成績表が掲示された時点をもって終了したものとみなす。

6. ホールとホールの間での練習禁止

『ゴルフ規則付 I (c)5b』を適用する。(ゴルフ規則 179 頁参照)

7. プレーの中断と再開

(ア) プレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、ゴルフ規則 6-8b、c、d に従って処置すること。

(イ) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間をいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であった時は、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならない。そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格となる。

(ウ) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断：短いサイレンを繰り返して通報する。

険悪な気象状況による即時中断：1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開：1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

8. 移動

競技者は正規のラウンド中、委員会が別途認めた場合を除きいかなる移動用の機器にも乗ってはならない。ただし、キャディーが乗用カートに乗ることは認められる。この条件の違反の罰は『ゴルフ規則付 I (c)8 移動』を適用する。(ゴルフ規則 181 頁参照)

注 意 事 項

1. 予備グリーンは定義上「目的外のパッティンググリーン」であり、球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、競技者は規則 25-3 に基づいて救済を受けなければならない。なお、定義外の取り扱いをする場合においては別途、追加のローカルルールを掲示する。

競技委員長 野村 惇